

令和4年第1回原村一般廃棄物減量等推進審議会会議録

令和4年6月30日(木)

午後6時30分から午後7時20分

原村役場 204 会議室

出席者：眞道弘幸、清水哲也、小池保寛、小林秀徳、津金重樹、五味勇吉、花岡辰夫、黒澤龍一、
小布施清、八柳誠二、小平恒夫、長田文好

事務局：清水建設水道課長、日達

1 開 会 及 び あいさつ (清水課長)

2 議 事

(1) 正副会長の選出について

事務局 今回は、事務局からの報告や説明が中心となるため正副会長を選出せずに実施する旨を説明。

〈一同同意〉

(2) 村廃棄物の概要について

事務局 資料2「村廃棄物の概要について」説明

委員A 発泡スチロールの出し方は、容器包装プラスチックと同梱してよくなったのか。

事務局 昨年9月までは発泡スチロールは青色ネット、容器包装プラスチックは白色フレコンだったが一緒に白色フレコンで集めている。

(3) 生ごみ減量化等推進事業補助金について

事務局 資料3「生ごみ減量化等推進事業補助金について」説明

委員B 生ごみ処理機は、生ごみの水分を飛ばして減量になる。村の予算は限りがあるということか。

事務局 予算については難しい部分がある。

委員C 生ごみ処理機はいくらぐらいするものか。

事務局 様々、一万円未満のものから十万円を超えるものまで。平均的なものは3万円から4万円くらい。

委員D 生ごみ処理機を購入する人たちは意識が高い。上限1万円でもよいと思う。

事務局 今日いただいた意見を参考に、予算、制度の見直しを含めて再度村で検討する。

(4) 剪定木のチップ化事業について (報告)

事務局 資料4「剪定木チップ化事業について」説明

委員B チップのサイズが大きい。庭に入れるには抵抗があるのでは。

事務局 昨年度と今年度では委託業者が変わっている。改善されている。

委員E 配布会や広報での宣伝は大事。

事務局 チップの利用状況をみながら、配布会や広報の対応をしていく。

3 その他

事務局 処理困難物の回収について、一昨年度に実施し、ニーズがあって喜ばれた。今年度も、一昨年度の反省を活かし、品目をしぼってやりたいと考えている。また、布団類は、地区の粗大ごみ回収日に出せなくなった。これについても収集の機会を検討したい。家庭のごみをうまく出せるように考えていきたい。なにか、皆さんからアイデアがあれば。

委員C 昨年度からごみの出し方が変わっているが、地区の皆が把握しきれていない。総会等で出前講座のようなものをお願いすることはできるか。

事務局 ご要望があれば対応できる。

委員D 太陽光パネルの廃棄について相談あるか。

事務局 今のところ相談はないが今後課題となることは予想される。こちらでも勉強しておく。

委員D 区民から相談があった。

委員E ゴミ拾いを毎月10日やっているが、ごみの量が減らない。ほとんどがポイ捨て。地域でぜひゴミ拾いをしてほしい。

事務局 清掃活動については、保健衛生自治推進協議会の衛生部会で取り組みを行っている。

4 閉 会（清水課長）